

令和元年度第3回
袋井市行政改革推進委員会 会議録

日 時：令和元年5月28日（火） 18：30～20：30

会 場：袋井市役所4階 庁議室

出席者：小泉祐一郎会長、豊田浩子副会長、加々美道也委員、木村満義委員
塩崎明子委員、田代貴志委員、田中里佳委員、水野信也委員（8人）

<会議次第>

○協議事項（意見交換）

- （1）職員アンケートの結果に対する委員からの意見・アイデアについて
- （2）「公共資産 SUKIMA」で稼ぐ×市民サービス向上について

<会議の概要>

- （1）職員アンケートの結果に対する各委員からの意見を踏まえ、事務局から取組案を提示し、各委員から御意見をいただいた。
- （2）2つ目のテーマである『「公共資産 SUKIMA」で稼ぐ×市民サービス向上について』の概要説明及び公園の活用について御意見をいただいた。

（委員意見）

（1）

- ・外部組織の風土を取り入れる仕組みがあると組織の活性化が進みやすい。
- ・大学等で新しい技術や知識を学ぶ機会があっても良い。
- ・民間との連携を考えると、外部との交流をする機会を増やしていきたい。
- ・目標を設定して評価する形では、目標以外に取り組む姿勢が欠けてしまう。
- ・公募に対して予算付けするのは良い。運用面がポイントである。
- ・部の枠組みを超えた予算編成の方が市民側としては良い。
- ・行政職員も一市民として地域団体に参加し、事業提案した方が良い。

（2）

- ・市内にBBQやキャンプができる場所が少ない。もっと開放して市民にPRすべき。
- ・自然に囲まれているにも関わらず、子どもが自然で遊べる場所がない。
- ・目的と設備を特化しお金を取る方が使う方も使いやすい。
- ・公共性を求め過ぎている。特化したものがトレンドとして使いやすく、おもしろい。
- ・集客施設だけでなく、木陰も設置するなど、長時間滞在してもらえる公園をつくる。
- ・ドローンの練習場が全国的に少ない。練習できる場があれば人が集まる。
- ・市民がやりたいことを主体的にやっていく流れをつくる。